

新社会

つくば

発行：新社会つくば

TEL 029-857-1154 FAX857-1254

金子 かずお気付

kaneko@max.hi-ho.ne.jp

<http://kanekokazuo.hakurakuryo.org/>

2018年10月 9日 第1094号



桜南保育所で運動会

今年で32回目を迎えた桜南保育所の運動会が6日に開催されました。

保育所には2歳児から5歳児までの元気な子どもたちが「自然」をテーマに楽しそうに演技をし、かけっこや親子競技、運動遊びなど充実した時を過ごしていました。金子議員も来賓参加。



福島第一原発

増え続ける汚染水 先の見えない廃炉

東京電力福島第一原子力発電所の事故から8年、原子力炉内の状況は未だ明らかにされず、溶け落ちた核燃料デブリがいつ取り出せるのかも不明である。そんな中、放射能汚染土壌の再利用計画が進行し、さらには放射能汚染水を海洋放出する話まで浮上している。8月には富岡町・郡山市・東京都で、トリチウム汚染水の海洋放出について公聴会も行われた。先の見えない原子

炉、止まらない放射能汚染の拡散はどうなっていくのだろうか。

新基地断念せよ・沖縄知事選

玉城デニー氏が大勝利

沖縄県の翁長知事が急逝したことに伴う知事選挙は9月30日に投開票され、辺野古新基地建設反対を前面に掲げた玉城デニー氏（前衆議院議員）が安倍政権丸抱えの佐喜真淳氏（前宜野湾市長）を破り、初当選をした。

選挙は、玉城氏と佐喜真氏との事実上の一騎打ちで、激戦が繰り広げられたが「オール沖縄」は玉城候補を先頭に草の根選挙を展開し、無党派層の7割の支持を得た。沖縄県民は、翁長知事に引き続き「辺野古新基地建設 NO!」を政権に突き付けた。

選挙結果は玉城氏 396,632 票、佐喜真氏 316,458 票、投票率は63・24%でした。

当選後、玉城氏は支持者の前で「辺野古の新基地建設は絶対認めない。翁長雄志知事の意志をしっかりとつないで、体を張って主張する」と語りました。

東海第二原発の再稼働を認めない意見書採択

つくば市議会では9月28日の議会最終日に、東海第二原発の再稼働を認めないことを求める意見書を賛成多数で採択しました。

東海第二原発の再稼働を認めないことを求める意見書案の提案は、金子かずお議員が行い、意見書案の内容を説明した。また、採択された意見書は下記のとおりです。

東海第二原子力発電所の再稼働を認めないことを求める意見書

提案者	金子かずお
賛成者	宇野 信子
同	塚本 洋二
同	小野 康宏
同	滝口 隆一

東海第二原子力発電所は、国内初の大型原子力発電所として1978年11月に営業運転を開始し、東京電力と東北電力に売電をしてきたが、2011年3月に発生した東日本大震災による津波により、3台ある非常用電源のうち1台が止まり、現在運転を停止しているところである。

政府は、福島第一原子力発電所の事故の後、運転から40年を越えた原発は原則廃炉とし、あわせて原子力規制委員会の審査と地元自治体の合意が得られれば、一度に限り最長20年の運転延長ができるとした。

そうした状況の中、昨年11月24日、東海第二原子力発電所の運営主体である日本原子力発電株式会社は、原子力規制委員会に対し運転延長申請を行ったところである。

しかしながら、東海第二原子力発電所は、全てのケーブルを難燃ケーブルに交換できないなど、多くの課題が残っている。また、全国の原発の中で最も人口密集地帯にあり、

実効性の伴う広域避難計画の策定は困難である。このような状況で東海第二原発を再稼働させることは看過できない。

よって、国及び茨城県においては、市民が安心して暮らし続けられる生活環境を維持するため、下記の事項について特段の取り組みを図るよう強く要望する。

記

- 1 人口密集地で広域避難計画の策定が困難な東海第二原子力発電所の再稼働は認めないこと。
- 2 原子力に依存しない社会の移行を目指し、代替エネルギーの確保と再生可能エネルギー等の新エネルギー導入促進をさらに進めること。

平成30年9月28日

つくば市議会

提出先は9機関の長あてです。

内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・文部科学大臣・経済産業大臣・環境大臣・内閣官房長官・茨城県知事

(運転停止中の東海第二原子力発電所)

